

事務事業名 青少年育成事業（BGレンジャー）補助事業

出力日：令和05年04月27日

キーコード：613

施策：	19	青少年の健全育成	財務コード	01090603-12-00
基本事業：	01	青少年の学習機会、体験活動の充実	担当部	教育部
基本事業の成果指標	子どもの家庭・地域での体験活動が充分だと思ふ市民の割合 学校の授業以外で体験活動をしている児童の割合 学校の授業以外で体験活動をしている生徒の割合		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成13年度 ~	新規・継続	継続	会計区分		実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）					
地域コミュニティ内の複数の青少年関係団体、機関、グループで組織する実行委員会		公民館やコミュニティセンターを中心としながら、地域での「青少年の課題」「青少年に必要な体験」などを地域の人が集まって考え、大人と子どもが触れ合って、解決に取り組む事業（地域の教育力が高まる事業）を行う団体に対して補助する。 ・団体構成員 地域内在住の成人5名以上で構成。 構成員の中に、地域内の役員（隣組長）含む ・補助額（最高） 1年目10万円、2年目7万円、3年目3万円。 例：農業体験事業、子ども防犯パトロール隊 など 補助金終了後も事業目的に向けての取り組みを続けていくこと。 社会教育委員の会で内容説明（新規）、内容審査（2年目、3年目）を行い、補助金支給の決定し、事業実施を行う。					
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）							
様々な体験活動や行事等を通じて、心豊かな青少年の育成とまちづくりの推進を図る。							
4. 成果（簡易評価は未記入）							

成果指標名称	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
補助終了後も活動している団体数	団体	12	12	15	15			15
補助団体数（延べ）	団体	37	37	37	37			38

5. コスト								
事業費	計	千円	0	100	200	130		
	国	千円	0	0	0	0		
	県	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般	千円	0	100	200	130		
正職員人工数	人工		0.1	0.1	0.1			
正職員人件費	千円		803	792	773			
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円		803	892	973	130		

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）								
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	補助終了後も活動を継続している団体数は維持されている。 令和2年度から事業を持ち越した3団体のうち、2団体が補助金の交付を受けて事業を実施することができた。							

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）								
対象動向	維持	類似事業	あり	平成30年度から、募集期間を10日程度から約2か月間に延長した。				
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし					
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし					
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり					
成果向上余地	中程度							

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）								

引き続き、活動継続団体数の維持・増加のために、情報提供などの支援を行うとともに、新規団体の応募のため、広報活動や補助金制度の整備見直しに努めていく。								
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）								
備考・特記事項 or 進行管理欄								
平成13年度、地域が協力し、知恵を出し合い、青少年の健全育成を通して、まちづくりの推進を図るための事業として設立。								